

今日のトピック 米国のISM景況感指数（2016年2月）

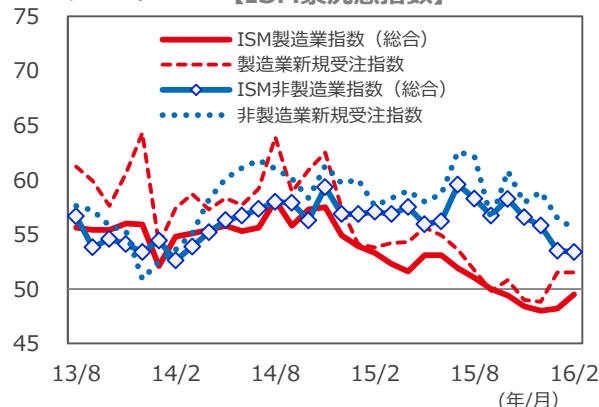
製造業の在庫調整は間もなく終了へ

ポイント1 製造業指数は上昇

新規受注、生産指数が50台を維持

- 2016年2月のISM製造業景況感指数は、総合指数が49.5ポイントとなりました。前月の48.2ポイントからは1.3ポイント上昇し、好不況の分岐点となる50ポイントまで、あと一息のところになりました。
- 内容を見ると、総合指数を構成する5指標のうち、生産、雇用指数が前月比で大きく上昇したほか、先行性のある新規受注指数が2カ月連続で50ポイントを上回り、良好な内容です。
- 新規受注指数と在庫指数の動きから判断すると、製造業の在庫調整は今年1月～3月頃に終了する見込みです。

(ポイント) 【ISM景況感指数】



(注) データ期間は2013年8月～2016年2月。
(出所) Datastreamのデータを基に三井住友アセット
マネジメント作成

ポイント2 非製造業指数は高水準

拡大基調を持続

- 一方、2月の非製造業景況感指数は前月比0.1ポイント低下の53.4となりました。
- 指数は50ポイントを超える水準で、おおむね横ばいの推移となっています。非製造業の拡大基調に変化のないことを示唆するものです。

【ISM景況感指数】 (ポイント)

	製造業			非製造業	
	2月	前月比		2月	前月比
総合	49.5	+1.3	総合	53.4	▲0.1
新規受注	51.5	±0.0	事業活動	57.8	+3.9
生産	52.8	+2.6	新規受注	55.5	▲1.0
雇用	48.5	+2.6	雇用	49.7	▲2.4
入荷遅延	49.7	▲0.3	入荷遅延	50.5	▲1.0
在庫	45.0	+1.5	在庫	52.5	+1.0

(注) 総合指数は、製造業が上記の5つの構成指数の平均、非製造業が上記のうちの在庫指数を除く4つの構成指数の平均。
(出所) Datastreamのデータを基に三井住友アセット
マネジメント作成

今後の展開 緩やかな利上げ継続へ

- ISM景況感指数から判断すると、製造業は今年の1月～3月頃に底入れし、上向きの循環に入ると予想されます。製造業の活動が勢いを取り戻すにつれ、非製造業の拡大ペースも再び加速する可能性が高いと考えられます。
- 米景気の拡大を背景に、米連邦準備制度理事会（FRB）は利上げを継続すると予想されます。ただ、物価上昇率がFRBの目標とする+2%を下回っていることなどから、そのペースは緩やかなものにとどまると見られます。

ここもチェック! 2016年 2月19日 「FOMC議事録」と金融政策（米国）
2016年 2月 8日 米国の雇用統計（2016年1月）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。